



ツーバイフォー住宅の建設を中心に30年以上取り組んできた事業者が完成させた、1,000㎡超の中高層建築物。東京・豊島区の目白通り沿いの角地で裏手は公園という立地で、パリの街並みをイメージした石造りのような外観が採用された。

ツーバイフォーの標準的な材料と先導技術が融合

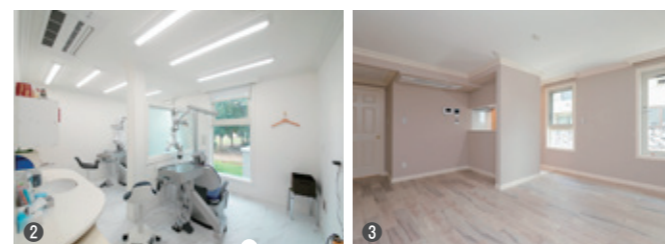
## 5階建て木造複合ビル

東京・目白通り沿いに今年4月に完成したこの建物は、1階をRC造、2階から5階をツーバイフォー工法の1時間耐火構造とした5階建て木造複合ビルです。東日本大震災で損傷を受けたRC造のビルの建て替え計画で、中高層建築物木造化のリーディングプロジェクトとして国土交通省「サステナブル建築物等先導事業」に採択されて建てられました。

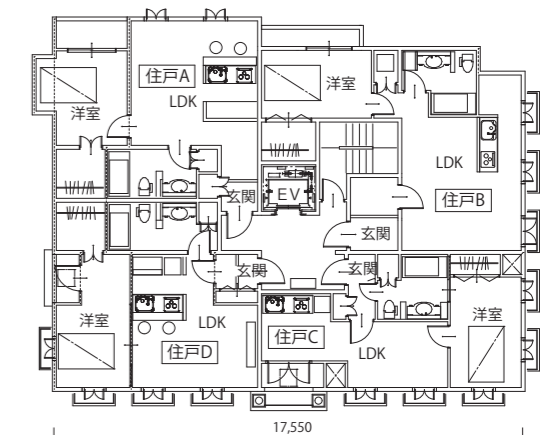
1階駐車場、2階歯科クリニック、3・4階賃貸住宅、5階オーナーの住居という構成で延床面積1,000㎡超というこの大規模木造建築物の設計・施工を請け負ったのは、ツーバイフォー住宅を中心に手掛ける事業者です。構造材の供給事業者を構造・防火等の技術パートナーに迎えることで、この計画に先導的な技術が有効に取り入れられました。高

倍率耐力壁にカナダで開発された「ミッドブライ・ウォール・システム」、大きな引き抜き力に対応する「タイダウンシステム」が用いられ、さらに地震時の揺れを低減する制震技術「VAX」が導入されました。

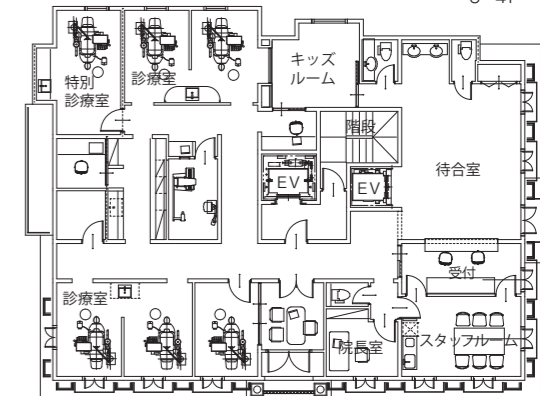
ツーバイフォー工法の標準的な材料と中高層建築物に必要な技術を利用し、構造設計においては「ウォールスタット」という耐震構造シミュレーターを利用し、構造の安全性、制震装置の効果などを検証して進められました。木造化により削減できたコストは内外装に使用する仕上げ材にまわすことで、地域のランドマークにもなったこだわりのファサードを創出し、クリニックの患者さんがくつろげる空間のグレードアップや、賃貸住宅スペースの収益性アップが図られました。



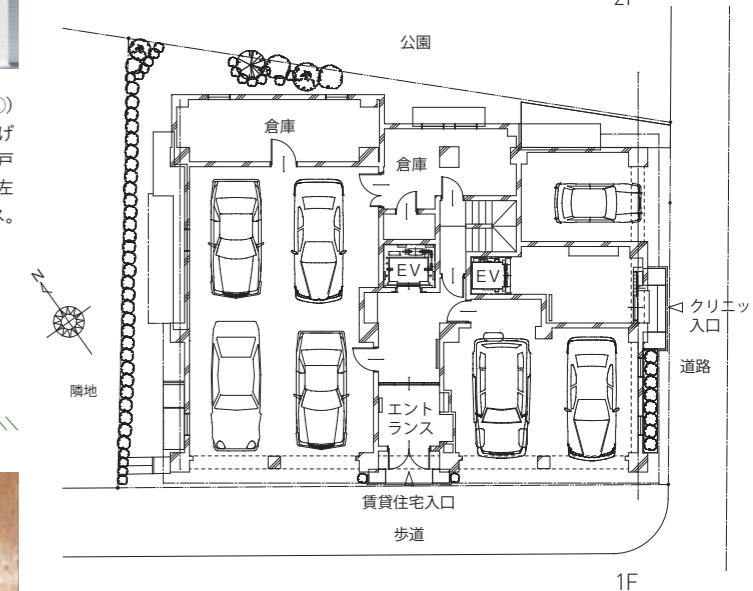
①②2階は歯科クリニック。広々とした高級感のある空間にデザインされた待合室(①)と、プライバシーを保ちつつ、院内の気配が感じられる半個室の診療室(②)。内装仕上げに一部国産ヒノキ材が使用されている。③3・4階は1LDK38.45㎡～51.20㎡の8戸で構成される賃貸住宅スペース。全室角部屋で、充実した設備と木を多用した流行に左右されない内装が特徴。④1階は歯科クリニックと賃貸住宅の駐車場・駐輪スペース。⑤正面中央には洋館の扉のような共用エントランスがある。



3・4F



2F



1F

### POINT / 構造技術



①耐力壁「ミッドブライ・ウォール・システム」。②PC鋼棒を用いた「タイダウンシステム」。③制震技術「VAX」。④木造耐火構造は1時間耐火の告示仕様が採用され、一般的な仕様となっている。

かみ DATA - 各務ビル

所在地：東京都豊島区  
 用途：共同住宅、診療所  
 構造：枠組壁工法 [耐火建築物] (1階はRC造)  
 階数：5階建て  
 敷地面積：292.91㎡  
 建築面積：223.23㎡  
 延床面積：1,016.93㎡  
 事業主：合同会社ポール企画  
 設計・施工：(株)アサミホーム  
 構造材供給・技術支援：三井ホーム(株) 木材建材事業本部工  
 期：2020年11月～2023年4月  
 法規制：近隣商業地域 (建蔽率80%、容積率400%)、防火地域